

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和3年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

（達成率の印とその評価の目安）

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる（達成率100%以上）

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく（達成率90%～100%）

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要（達成率50%～90%）

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要（達成率50%以下）

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
住まい	住宅の質の向上	3	0	1	1	1	◎
	多様な住まいの確保	1	1	0	0	0	◎
	居住の支援の充実	7	3	1	1	2	-
		11	4	2	2	3	

◎○の割合（◎○の数／事業数） 54.5 %

「住宅の質の向上」について、バリアフリー化等支援事業は目標値に達しなかったため、引き続き周知を図っていく必要がある。

「多様な住まいの確保」について、親世帯・子育て世帯近居同居支援事業は目標値を大きく上回った。引き続き事業を実施していく。

「居住の支援の充実」について、住まいの講演会及びマイホーム借上げ制度説明会は新型コロナウイルス感染症拡大防止を配慮して中止とした。また、住まいるサポート船橋に係る物件成約件数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、低調な状況である。

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和3年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

（達成率の印とその評価の目安）

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる（達成率100%以上）

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく（達成率90%～100%）

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要（達成率50%～90%）

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要（達成率50%以下）

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
予防	活動の場の提供	16	3	2	5	6	-
	健康づくりへの支援	9	2	0	2	5	-
	介護予防の推進	8	3	0	3	2	△
		33	8	2	10	13	

◎○の割合（◎○の数／事業数） 30.3 %

「活動の場の提供」では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を中止していた期間もあり、ふなばしシルバーリハビリ体操や公園を活用した健康づくり事業、市民スポーツ教室等について、開催数や利用者数の目標を達成できなかった。その一方で、ふなばしシルバーリハビリ体操指導士養成講座を2年ぶりに開催し、31人の指導士を養成した。

「健康づくりへの支援」では、栄養相談や健康相談、健康教育の参加者数は大きく減少した。ただし、健康ポイント事業などコロナ禍でも取り組める事業は継続して実施し、市民の健康づくりへの支援につなげている。

「介護予防の推進」では、介護予防ケアマネジメントの自立支援強化のための検討会議は約3割減の開催となったが、ケアマネジャーに効果的な助言を提供できた。ふなばし市民大学校「いきいき学部」や公民館での高齢者学級等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら実施したものの目標値に達しない事業もあったが、健康スケール事業はコロナ禍においても市民から高い返送率を維持した。

長引くコロナ禍による活動量の低下により、フレイルのリスクが高まることから、感染症対策を講じながらの事業の実施や感染症の蔓延期においても実施できる介護予防の取り組みを充実させていく必要がある。

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和3年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

（達成率の印とその評価の目安）

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる（達成率100%以上）

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく（達成率90%～100%）

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要（達成率50%～90%）

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要（達成率50%以下）

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
生活支援	生活支援サービスの提供	26	7	6	13	0	-
	移動支援	7	5	1	1	0	○
	地域での支え合い体制の確立	7	0	2	2	3	○
	その他	16	7	0	4	5	○
		56	19	9	20	8	

◎○の割合（◎○の数／事業数） 50.0 %

新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業において活動が制限されたが、動画配信や書面開催に切り替えるなど、可能な限り事業実施に努めた。

「生活支援サービスの提供」では、移動販売支援事業が計画目標値を大きく上回る結果となった。事業者との連携により買い物困難地域への対応が充足しており、今後も巡回要望に応じ、販売ルートの見直しを検討していく。

また、高齢者等食の自立支援事業（配食サービス）では、3つの指標（延配食数、利用登録者、栄養管理サービス利用者数）において、目標値を上回る結果となっている。引き続きパンフレットの配架など周知に努めていく。

「移動支援」では、高齢者支援協力バスの利用者数が令和2年度は減少傾向にあったものの、令和3年度については、利用者数が少しずつ回復してきている。引き続き、地元の要望や利用者累計をもとに、利用者のニーズに合ったルートを設定し、利用者数の増加を図る。

「地域での支え合い体制の確立」では、ミニデイサービス事業やふれあいいいきいきサロン事業において、活動を自粛していた期間があったことから、目標値を下回る結果となっている。集まったの開催ができない期間には、工作キット等を送付するなど繋がりを絶やさないよう努めた。

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和3年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

（達成率の印とその評価の目安）

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる（達成率100%以上）

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく（達成率90%～100%）

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要（達成率50%～90%）

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要（達成率50%以下）

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
介護	介護サービスの量の確保	0	0	0	0	0	○
	介護サービスの質の確保	9	6	0	1	2	-
	多様なサービスの提供	0	0	0	0	0	○
	地域包括支援センターの機能強化	9	3	2	1	3	○
	認知症対策の推進	16	4	1	7	4	○
	介護サービスの円滑な利用	13	7	2	1	3	○
		47	20	5	10	12	

◎○の割合（◎○の数／事業数） 53.2 %

「介護サービスの質の確保」では、介護人材の確保や訪問看護職員雇用促進事業など目標値を上回っており、概ね計画に沿って実施されている。

「地域包括支援センターの機能強化」では、在宅介護支援センターから地域包括支援センターへの移行など目標値を上回った事業がある一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標値を達成できない事業もあった。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら事業を実施していく。

「認知症対策の推進」では、認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員の設置については、目標値を上回っている。一方で、認知症訪問支援サービス（市町村特別給付）の延利用件数については、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響していると考えられ目標を下回っている。今後も引き続き制度の周知に努め、利用の促進を図っていく。

「介護サービスの円滑な利用」では、介護保険利用者負担助成事業など目標値を上回っている事業もある一方で、介護保険の出前講座の開催など、新型コロナウイルスの影響で実施できず目標値を下回っている事業もあった。感染の状況を鑑みつつ、地域住民や関係団体等から要望があった際には出前講座の実施を検討する。

第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況総括表（令和3年度実績）

【目標値があり、実績を把握できている事業について】

基本方針の施策群別に、達成率の印「◎○△▲」を集計。「◎○」の割合により評価を行った。

（達成率の印とその評価の目安）

◎…計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる（達成率100%以上）

○…ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく（達成率90%～100%）

△…達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要（達成率50%～90%）

▲…達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要（達成率50%以下）

【目標値なしの事業について】

基本方針の施策群別に、「◎○△▲」の印を用い定性的に評価を実施した。

基本方針	施策群	目標値あり					目標値なし
		事業数	◎	○	△	▲	
医療	在宅医療の推進	13	4	1	4	4	○
	地域医療連携の推進	0	0	0	0	0	-
	看護職の確保	1	1	0	0	0	-
	地域リハビリテーションの推進	2	1	1	0	0	-
	歯科口腔保健の推進	2	1	0	1	0	-
		18	7	2	5	4	

◎○の割合（◎○の数／事業数） 50.0 %

新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小や中止となった事業もあったが、一部の講演会や研修会については、オンライン開催や動画配信等、開催方法を工夫して事業の実施に努めた。

「在宅医療の推進」では、例年地域包括ケアシステムの根幹となる在宅医療・介護を市民へ普及するために、出前講座や在宅医療・介護連携推進事業である講演会・相談会・出張講演会を開催してきた。昨年度後半より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoom等を活用し委員会活動を行ってきており、市民向けの講座等についてもオンラインでの開催を検討している。また、感染症拡大防止策を徹底し、研修会等も実施している。

「船橋市在宅医療・緩和ケア・リハビリテーション提供機関マップ」については、今年度も作成を進めている。

「地域医療連携の推進」では、かかりつけ医等について、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、イベントや講演会等でチラシを配布し、積極的に普及・啓発を行うとともに、より効果的な周知方法等について、検討していく。

また、国・県等の動向について情報収集に努める。

「看護職の確保」については、今後も、看護職復職支援研修会にて潜在看護師の復職支援を行い、看護師等養成修学資金にて市内就職を目指す看護学生の支援を行うことで市内の看護師の充足を目指す。介護保険訪問看護職員雇用促進事業は目標値に達しており、必要に応じて事業の見直しを行い、引き続き補助を行っていく。

「地域リハビリテーションの推進」については、ほぼ目標値を達成できている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底し、引き続き、地域リハビリテーション拠点事業として、リハビリ関係者向け地区勉強会、リハビリ関係者向け研究大会、市民向け講演会を開催し、地域リハビリテーションの推進を図っていく。

「歯科口腔保健の推進」については、目標値を達成できていない項目もあるため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底しつつ、口腔ケア講習会や市民講演会を通じて、口腔ケアの重要性、また訪問歯科診療についてさらなる周知を図っていく。

全体	総事業	事業数	◎	○	△	▲
		165	58	20	47	40

◎○の割合（◎○の数／事業数） 47.3 %

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容				実績			評価				所管課		
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入			
基本方針 1. 住まい「住み慣れた地域で、安心して暮らせる住環境の整備」													
1	住宅の質の 向上	★自立支援のための住宅の バリアフリー化等の支援	住宅バリアフリー化等支 援事業助成件数	件	200	200	200	83	41.5%	▲	→	福祉ガイド等を通じて支援事業の周知を行った。	住宅政策課
2		★分譲マンションの共用部分 のバリアフリー化等の支援	分譲マンション共用部分 バリアフリー化等支援事 業助成件数	件	10	10	10	7	70.0%	△	→	福祉ガイド等を通じて支援事業の周知を行った。	住宅政策課
3		高齢者住宅改造費助成事業	助成件数	件	130	136	141	127	97.7%	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
4		住宅のバリアフリー改修等に 関する相談	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	→	(一社)千葉県建築士会船橋支部、(公社)千葉県建築士事 務所協会船橋支部、船橋増改築相談員協議会が相談員とな り、建築住宅相談を実施した。(年55回開催※) ※当初60回の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に より公共施設の利用が停止となったため、9月の5回分を中止 とした。	住宅政策課
5		賃貸住宅のバリアフリー改修 等の促進	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	→	ホームページやパンフレットを通じて、住宅セーフティネット 制度の活用による登録住宅の改修に対する支援について周知 する。 介護認定者のために住宅の改造をしようとする世帯を対象に 改造資金を助成することにより、住宅のバリアフリー化を推進 した。	住宅政策課 高齢者福祉課
6		高齢化しているマンション管 理組合の支援	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	→	(一社)千葉県マンション管理士会が相談員となり、マンション 管理無料相談及びマンション管理士等派遣事業を引き続き実 施した。	住宅政策課
7	多様な住ま いの確保	★親世帯・子育て世帯近居同 居の支援	親世帯・子育て世帯近居 同居支援事業助成件数	件	50	50	50	103	206.0%	◎	→	ホームページ等を通じて支援事業の周知を行った。	住宅政策課
8		質の高いサービス付き高齢者 向け住宅の供給	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	→	サービス付き高齢者向け住宅の新規及び更新の登録を行っ た。また、既に登録されているサービス付き高齢者向け住宅 については、立入検査や定期報告を実施した。	住宅政策課	
9	居住の支援 の充実	★高齢者の住まいに関する 情報提供	住まいの講演会参加人 数	人	50	50	50	0	0.0%	▲	→	コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	住宅政策課
10		★持ち家の活用	マイホーム借上げ制度説 明会参加人数	人	50	50	50	0	0.0%	▲	→	コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	住宅政策課
11		★高齢者の住み替え支援	高齢者住み替え支援事 業助成件数	件	13	13	13	18	138.5%	◎	→	福祉ガイド等を通じて支援事業の周知を行った。	住宅政策課
12		★ひとり暮らし高齢者の見守 り	緊急通報装置設置台数	台	2,014	2,083	2,146	2,007	99.7%	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き虚弱なひとり暮らし高 齢者等への緊急通報装置の貸与を推進する。	高齢者福祉課
			声の電話訪問事業実利 用者数	人	63	65	67	73	115.9%	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
13	★居住支援サービスの向上	声の電話訪問事業訪問 回数	回	3,282	3,387	3,491	4,372	133.2%	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課	
		「住みいるサポート船橋」 による賃貸物件成約件 数	件	40	60	60	24	60.0%	△	→	パンフレットや福祉ガイド等を通じて、住みいるサポート船橋 の周知を行った。	住宅政策課 地域包括ケア 推進課	

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容							実績			評価			所管課
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)		今後の 方向性	令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入		
基本方針 2. 予防「介護予防の推進で“健康寿命日本一のまち”」													
14		★ふなばしシルバーリハビリ 体操の推進	シルバーリハビリ体操指 導士養成講座開催数	回	6	1	6	1	16.7%	▲	→	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、養成 講習会の開催回数を減少せざるを得なくなったが、感染対策 を講じて1回実施した。 【目標の変更】 新型コロナウイルス感染症の影響により、1回に変更した。	健康づくり課
			シルバーリハビリ体操指 導士養成数	人	180	30	180	31	17.2%	▲	→	ふなばしシルバーリハビリ体操指導士養成講座を2年ぶりに 開催し、31人の指導士を養成した。 【目標の変更】 新型コロナウイルス感染症の影響により講習会を1回実施し た場合の30人に変更した。	健康づくり課
			シルバーリハビリ体操延 指導士数	人	910	791	971	761	83.6%	△	→	ふなばしシルバーリハビリ体操指導士養成講座を2年ぶりに 開催し、31人の指導士を養成した。 【目標の変更】 令和3年度の養成者数の31人を加算した延指導士数761人を 基準に令和4年度は30人、令和5年度は年間180人の増加を 目標とし、それぞれ791人、971人とした。	健康づくり課
			シルバーリハビリ体操延 上級指導士数	人	10	10	15	10	100.0%	◎	→	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、講習 会を実施できなかった。	健康づくり課
			シルバーリハビリ体操指 導士により開催される延 体操教室数	か所	115	92	108	49	42.6%	▲	→	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、教室 を開催できないところが多くあったが、指導士のスキル向上の ため、上級指導士による研修会を行う。 【目標の変更】 令和4年度目標値はコロナ前の教室の再開を目標に92教室と 設定した。 令和5年度目標値は小学校区毎に2教室を目安とした計108 教室に再設定した。	健康づくり課
15	活動の場の 提供	★公園を活用した健康づくり 事業の実施	公園を活用した健康づく り事業実施公園数	か所	46	40	44	34	73.9%	△	→	令和3年4月から事業再開したが新型コロナウイルス感染症 の拡大の影響により、1か月間事業を中止した。新型コロナウ イルス感染症拡大状況の中でも実施公園数の増加に向けて 関係機関等にアプローチは実施した。引き続き関係機関にア プローチを実施していく。 【目標の変更】 令和元年度は38公園で開催できていたが、新型コロナウイ ルス感染症の影響により、令和2年度は事業を2か月弱しか 実施できず、令和3年度においても感染対策を講じながらの 実施のため開催公園を増やすことが難しかった。令和4年度 の4月開始時点で36公園のため、毎年、4公園ずつの増加を 目標とした。(もともとの目標も4公園ずつ増加する目標に設 定されている。)	地域保健課

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容							実績			評価			所管課	
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標		令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)		今後の 方向性	令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入		
16		老人福祉センター	延年間利用者数	人	355,000	355,000	355,000	146,181	41.2%	▲	→	指定管理者による管理運営を行うとともに、指導、監督を行い、高齢者が利用し易い環境整備に努める。	高齢者福祉課	
17		老人憩の家	施設数	か所	35	34	34	35	100.0%	◎	→	引き続き「老人憩の家」の適正な配置に努める。 【目標の変更】 民設憩の家1か所について、所有者の意向によりR3年度末で閉鎖した。	高齢者福祉課	
			延年間利用者数	人	46,000	45,000	45,000	5,947	12.9%	▲	→	引き続き「老人憩の家」の適正な配置に努める。 【目標の変更】 民設憩の家1か所について、所有者の意向によりR3年度末で閉鎖した。	高齢者福祉課	
18		老人クラブ	クラブ数	クラブ	236	236	236	233	98.7%	○	→	老人クラブ活動が活発に行われるように引き続き支援していくとともに、福祉ガイドなどで対象者への周知を図る。	高齢者福祉課	
			会員数	人	12,000	12,000	12,000	10,980	91.5%	○	→	老人クラブ活動が活発に行われるように引き続き支援していくとともに、福祉ガイドなどで対象者への周知を図る。	高齢者福祉課	
19		老人生きがい広場	施設数	か所	5	5	5	5	100.0%	◎	→	引き続き、利用人数や稼働率を考慮し、ゲートボール場の適切な配置に努める。	高齢者福祉課	
			延利用者数	人	11,000	11,000	11,000	9,245	84.0%	△	→	高齢者の健康の維持・増進と相互の親睦を図れるよう、利用者が使用しやすい環境の維持・管理に努める。	高齢者福祉課	
20		高齢者いきいき健康教室	実参加高齢者数	人	750	750	750	224	29.9%	▲	→	引き続き教室の周知を行い、事業を継続して行く。 【目標の変更】 目標設定後に4教室廃止となったため。	高齢者福祉課	
21		市民スポーツ教室	教室数	教室	9~10	9~10	9~10	6	60.0%	△	×	×	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった教室があり、目標達成率は低くなった。 令和4年度以降は、指定管理者への自主事業等へ移行するため廃止とする。	生涯スポーツ課
			延利用者数	人	1,300	1,300	1,300	679	52.2%	△	×	×	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響から中止となった教室があり、目標達成率は低くなった。 令和4年度以降は、指定管理者への自主事業等へ移行するため廃止とする。	生涯スポーツ課
22	★特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の向上及び健診結果の活用、セルフマネジメント支援	特定健康診査受診率	%	56	58	60	令和4年10月末に確定予定(国報告の集計値)	-	-	→	→	目標達成に向け、AI(人工知能)を活用した受診勧奨を行うとともに、コロナワクチン集団接種会場にて、健診啓発チラシを配布することで、受診率の向上を図った。(概ね40歳代以上が接種する期間に配布)	健康づくり課	
		特定保健指導実施率	%	50	55	60	令和4年10月末に確定予定(国報告の集計値)	-	-	→	→	目標達成にむけ、コロナ禍における特定保健指導の実施ツールとして、新たにオンライン面接を実施した。また、健診結果説明との効果的な同時実施を行うため、医療機関との連携を強化し、特定保健指導(動機づけ支援)の受託医療機関数の増加に取り組んだ。	健康づくり課	
23	★市内飲食店等における健康的な食事提供による食環境の整備	市民の健康づくり支援に取り組み飲食店等店舗数	店舗	100	100	100	104	104.0%	◎	↗	↗	令和2年11月より食環境整備事業「ふなばしMOREベジ協力店」推進事業を開始し、市民の野菜摂取量増加につながる取り組みを行う飲食店、弁当店、惣菜店、八百屋及び直売所等を登録し、旬の野菜や船橋産の農産物を摂取しやすい環境整備を推進するため登録店舗数の増加を図った。	地域保健課	

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容					実績			評価			所管課		
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	今後の方向性 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入			
24	健康づくりへの支援	栄養相談	栄養相談利用者数	人	800	800	800	94	11.8%	▲	→	令和2年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、栄養相談事業の中止・縮小を余儀なくされた。今後についても新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況や市の方針に従って事業を実施していく。保健センターでの窓口栄養相談は随時受付し、相談対応を行っていく。	地域保健課
25		成人期の歯科健康診査の実施	成人歯科健康診査受診率	%	9	9	9	6.6	73.3%	△	→	令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、年代によっては受診控えから受診率が微減したが、20歳30歳代は7%台をキープした。	地域保健課
26		★健康ポイント事業	参加者数	人	8,900	10,200	11,500	11,102	124.7%	◎	↗	スマートフォンアプリを中心に参加者数を延ばすことができている。今後も公民館でのスマホアプリ講習会開催など、スマホアプリの周知及び活動量計からスマホアプリへの切替の周知活動を継続していく。	健康政策課
27		後期高齢者健康診査	後期高齢者健康診査受診率	%	49.5	50.5	51.5	令和4年10月末に確定予定(国報告の集計値)	-	-	→	目標達成に向け、健診未受診者の受診のきっかけとなるよう人間ドック及び脳ドック費用助成により、受診率の向上を図っていく。	健康づくり課
28		高齢者健やか活動支援事業	開催回数	回	4	4	4	2	50.0%	△	→	市内老人クラブへの案内配布等での周知を図る。	高齢者福祉課
			延参加人数	人	250	250	250	24	9.6%	▲	→	市内老人クラブへの案内配布等での周知を図る。	高齢者福祉課
29		健康教育	健康教育利用者数	人	13,000	13,000	13,000	1,958	15.1%	▲	→	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、教育事業の一部中止・縮小を図ったが、感染対策を講じ、健康教育を実施した。今後についても新型コロナウイルス感染症拡大状況や市の方針に従って事業を実施していく。	地域保健課
30		健康相談	健康相談利用者数	人	10,000	10,000	10,000	1,566	15.7%	▲	→	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、相談事業の中止・縮小を図ったことから相談者数が減少した。今後についても新型コロナウイルス感染症拡大状況や市の方針に従って事業を実施していく。保健センターでの窓口健康相談は随時受付し、相談対応を行っていく。	地域保健課
31		在宅介護支援教室	開催回数	回	85	80	80	14	16.5%	▲	→	令和3年度は感染症の影響で開催がほとんどできなかったが、引き続き、介護予防の推進及び在宅介護支援の充実、センターの周知を図るため、教室を実施していく。	地域包括ケア推進課
32		★介護予防ケアマネジメントにおける自立支援の推進	検討会議事例数	事例	144	144	144	67	46.5%	▲	→	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、会議開催数は予定より大幅に減少した。参加ケアマネジャーの反応から効果は認められる。令和4年度より、市内居宅介護支援事業所の参加も予定している。なお、開催数を縮小し、集中化、効率化を図る。	地域包括ケア推進課
33	ふなばし市民大学校「いきいき学部」	実学生数	人	370	270	270	276	74.6%	△	→	感染症の拡大防止を踏まえ、定員の見直しを図ったことから、令和4年度以降の目標値を変更した。	社会教育課	
		延講座数	件	350	350	350	284	81.1%	△	↗	コロナ禍における緊急事態宣言発出により授業が1か月間休校となったことから、講座数が減少した。	社会教育課	

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容							実績			評価		所管課	
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標		令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入		
34	介護予防の 推進	公民館の高齢者対象講座	高齢者学級数	学級	26	26	26	26	100.0%	◎	→	計画の進捗状況及び市民からの要望を踏まえ、継続して事業を実施していく。	中央公民館
			高齢者対象講座数	講座	70	72	74	71	101.4%	◎	→	計画の進捗状況及び市民からの要望を踏まえ、継続して事業を実施していく。	中央公民館
			高齢者学級の実参加者数	人	3,900	3,900	3,900	1,672	42.9%	▲	→	新型コロナウイルスの感染症防止のため、参加定員を減らすなどの対策を取りながら計画の進捗状況及び市民からの要望を踏まえ、継続して事業を実施していく。	中央公民館
			高齢者対象講座の実参加者数	人	4,900	5,040	5,180	5,508	112.4%	◎	→	新型コロナウイルスの感染症防止のため、参加定員を減らすなどの対策を取りながら計画の進捗状況及び市民からの要望を踏まえ、継続して事業を実施していく。	中央公民館
35		活動拠点整備事業	拠点での事業実施回数	回	1,711	1,711	1,711	1,119	65.4%	△	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、集客型の事業が実施できない期間があった。 そのような中でも感染対策を実施し、福祉相談を実施する等の活用を行った。	地域福祉課
36		介護予防の推進	(数値目標なし)		-	-	-	-	-	-	→	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業を中止していた期間もあり、ふなばしシルバーリハビリ体操や介護予防教室で利用が低迷している。健康スケール事業はコロナ禍においても一定の返送率を維持している。また、集合形式の事業は感染対策を講じながら実施するとともに自宅でも簡単に運動に取り組めるよう、体操のチラシの送付や体操の動画配信などを行った。	健康づくり課

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容							実績			評価			所管課
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)		今後の 方向性	令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入		
基本方針 3. 生活支援「助け合い活動などの支援体制づくりの推進」													
37	生活支援サービスの提供	★移動販売支援事業	移動スーパーの累計延利用者数	人	13,000	14,000	15,000	32,288	248.4%	◎	→	現在、イオン高根木戸店のほか、フードスクエアカスミ咲が丘店、とくし丸(ベルクフォルテ津田沼店、リブレ京成アルビス前原店、リブレ京成エポカ高根台店)と連携し、移動販売事業を実施しており、買い物困難地域への対応は充足している。今後も地域から移動販売の巡回要望があった場合には、事業者と協議のうえ販売ルートの見直しを検討する。	商工振興課
38		★生活・介護支援サポーター事業	サポーター登録人数	人	360	360	360	286	79.4%	△	→	引き続き生活・介護支援サポーター養成講座を実施し、質の高い生活支援ボランティアの育成を図る。	高齢者福祉課
			利用登録者数(高齢者宅)	人	589	617	641	547	92.9%	○	→	引き続き生活・介護支援サポーター養成講座を実施し、質の高い生活支援ボランティアの育成を図る。広報ふなばしなどで広く参加者を募集する。	高齢者福祉課
39		軽度生活援助員の派遣	実利用者数	人	580	580	580	428	73.8%	△	→	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に「軽度生活援助員」を派遣することにより、日常生活を支援する。	高齢者福祉課
			派遣時間数	時間	15,000	15,000	15,000	13,266	88.4%	△	→	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に「軽度生活援助員」を派遣することにより、日常生活を支援する。	高齢者福祉課
40		ファミリー・サポート・センター	実利用会員数	人	690	690	690	741	107.4%	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
			実協力会員数	人	180	180	180	159	88.3%	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
			利用件数	件	3,000	3,000	3,000	1,552	51.7%	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
41		高齢者等食の自立支援事業(配食サービス)	延配食数	食	11,600	11,600	11,600	12,484	107.6%	◎	→	老人福祉センター・公民館へのパンフレット配架など周知に努め、引き続き事業を継続する。市内全域を宅配できる業者がなく、現在2社のみ。協力業者を増やすことが課題。	高齢者福祉課
			利用登録者数	人	170	176	181	171	100.6%	◎	→	老人福祉センター・公民館へのパンフレット配架など周知に努め、引き続き事業を継続する。市内全域を宅配できる業者がなく、現在2社のみ。協力業者を増やすことが課題。	高齢者福祉課
			栄養管理サービス訪問回数	回	803	833	855	755	94.0%	○	→	老人福祉センター・公民館へのパンフレット配架など周知に努め、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
			栄養管理サービス利用者数	人	107	111	114	112	104.7%	◎	→	老人福祉センター・公民館へのパンフレット配架など周知に努め、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
42	寝具乾燥消毒サービス	実利用人数	人	160	160	160	139	86.9%	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課	
		延派遣回数	回	1,400	1,400	1,400	1,328	94.9%	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課	

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容							実績			評価		所管課	
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	今後の方向性 と令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入			
43		日常生活用具の給付	自動消火装置給付数	件	22	22	22	18	81.8%	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
			電磁調理器給付数	件	70	70	70	56	80.0%	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
			シルバーカー給付数	件	160	160	160	135	84.4%	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
44		補聴器購入費用助成事業	助成件数	件	100	100	100	92	92.0%	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
45		介護用品の支給等	実支給人数	人	2,816	2,925	3,041	2,828	100.4%	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
46		訪問理美容サービス	実利用者数	人	30	30	30	27	90.0%	○	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
			延訪問回数	回	60	60	60	50	83.3%	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
47		緊急一時支援事業	延派遣回数	回	20	20	20	11	55.0%	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
48		家族介護慰労金の支給	延支給人数	件	5	5	5	3	60.0%	△	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
49		★人材確保・ボランティアの掘り起こし	たすけあいの会	団体	58	60	62	57	98.3%	○	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が大幅に制限され、対策を行った上での活動継続に努めた結果、解散してしまう団体もあったが、新規で立ち上がる団体もあった。出前講座等によるたすけあいの会の設立への支援を行う中で、相談を受けられる体制を整えていく。	地域福祉課
			ボランティア数	人	2,600	2,800	3,000	1,989	76.5%	△	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されていたため、新規のボランティア確保に苦慮している。高齢化によるボランティア離れもあることから、現在活動しているボランティアが離れないようにする工夫や、新規のボランティア確保に向け、新たな取り組み等を検討する。	地域福祉課
50		ふれあい収集事業	対象世帯数	世帯	300	350	400	306	102.0%	◎	→	ふれあい収集利用者は年々増加しており(H30年度末 163件、R元年度末 214件、R2年度末 253件、R3年度末 306件)、本事業への需要が高いことが読み取れる。今後も関係団体への周知を行い、安定した事業の継続を図る。	資源循環課
51		★高齢者支援協力バスの活用	利用登録者数	人	7,500	7,600	7,700	7,630	101.7%	◎	↗	[取組み] 地元要望、利用状況をもとに利用者ニーズに合ったルートの設定を行い、引き続きパスカード登録者数の増加を図る。	道路計画課
			延利用者数	人	23,500	24,000	24,000	22,172	94.3%	○	↗	[取組み] 引き続き地元要望、利用者累計をもとに、利用者のニーズに合ったルートを設定し、利用者数の増加を図る。	道路計画課
52		★駅改札内外のバリアフリー化	整備実施駅数	駅	4	0	0	3	75.0%	△	→	[取組み] 令和3年度では京成線京成中山駅、海神駅にて内方線付点状ブロック、JR総武線西船橋駅にてホームドアが整備された。引き続き各鉄道事業者と綿密なヒアリングをし、優先度の高い駅からバリアフリー施設の整備を継続して進める。	道路計画課

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- ↗ 拡大
- 現状維持
- ↘ 縮小
- × 廃止

第8期介護保険事業計画に記載の内容					実績			評価			所管課		
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入			
53	移動支援	★バス待ち環境の改善(バス上屋・ベンチ設置)	停留所施設整備数 国・県道	か所	1	1	1	1	100.0%	◎	→	[取組み] ①国道県道(バス事業者へ補助金を交付) バス待ち環境の速やかな改善のため、引き続き整備を推進する。 ②広告付きバス停留所(PFI) 広告会社が、国道県道や市道に存するバス停の上屋・ベンチ等の整備・維持・管理を継続して行っていく。	道路計画課
			停留所施設整備数 市道	か所	1	1	1	2	200.0%	◎	→	バス待ち環境の速やかな改善のため、停留所施設(バス上屋・ベンチ)の整備を推進した。	道路建設課
54	高齢者福祉タクシー	高齢者福祉タクシー	延交付者数	人	9,501	9,950	10,360	9,614	101.2%	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
			延利用枚数	枚	60,806	63,678	66,303	62,782	103.2%	◎	→	福祉ガイド等で周知を行い、引き続き事業を継続する。	高齢者福祉課
55	高齢ドライバーへの対応	(数値目標なし)			-	-	-	-	-	-	→	バス路線の整備、交通不便地域支援事業等の移動支援策等については、引き続きを利用実態を把握しながら検討していく。	各関係課 (地域福祉課)
56	地域での支え合い体制の確立	★地域ケア会議の推進・地域課題への取り組み	個別ケア会議開催回数	回	118	131	144	87	73.7%	△	→	コロナの影響により開催が限定的な状況。	地域包括ケア推進課
			全体会議開催回数	回	100	100	100	99	99.0%	○	→	コロナの影響で一部書面開催しているが、計画通り開催されている。	地域包括ケア推進課
			講演会開催回数	回	15	16	17	4	26.7%	▲	→	コロナの影響により、中止を余儀なくされているところが多かったものの、一部開催することは出来た。	地域包括ケア推進課
57	ミニデイサービス事業補助金交付事業	実施回数	回	749	749	749	287	38.3%	▲	↗	新型コロナウイルス感染症の影響で、活動ができない期間があった。その中でも、参加者の方へワークキット等を郵送することにより繋がりを絶やさず、コロナ禍に対応した活動の実施に努めた。	地域福祉課	
58	ふれあいいきいきサロン事業補助金事業	実施回数	回	676	676	676	151	22.3%	▲	↗	新型コロナウイルス感染症の影響で、活動ができない期間があった。その中でも、参加者の方へワークキット等を郵送することにより繋がりを絶やさず、コロナ禍に対応した活動の実施に努めた。	地域福祉課	
59	保健と福祉の総合相談窓口事業	延相談件数	件	22,500	22,500	22,500	22,214	98.7%	○	↗	新型コロナウイルス感染症の影響により、就労や収入面に問題を抱えた生活困窮者からの相談が多くなっている。	地域福祉課	
60	ひとり暮らし高齢者等見守り活動支援事業	見守り対象高齢者数	人	3,000	3,000	3,000	1,719	57.3%	△	→	新型コロナウイルスの影響により、登録団体数は減少傾向にある。 ※ひとり暮らし高齢者地域交流会補助事業については補助停止中	高齢者福祉課	
61	生活支援コーディネーターの活動の活性化	(数値目標なし)			-	-	-	-	-	-	↗	地域福祉課に配置された地域福祉支援員が行う出前講座など、ボランティアの発掘やたすけあいの会の立ち上げに向けた周知活動が、新型コロナウイルス感染症の影響で思うようにできなかった。一方で、情報共有のための生活支援コーディネーター連絡調整会議をZOOMで実施するとともに、各生活支援コーディネーターを通じて地区の状況把握を行ったり、ニーズに沿ったサービスを提供するための方法などの相談を受けたりすることで、生活支援コーディネーターの活動を活性化させた。	地域福祉課

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容				実績			評価			所管課			
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性		今後の方向性 令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入		
62	その他	★高齢者を狙った犯罪・消費者被害への対策	出前講座	回	32	32	32	7	21.9%	▲	→	新型コロナウイルスの影響により、講座を実施することが困難なケースが多々あった。開催方法の変更等の検討も必要である。	消費生活センター
			消費者月間記念講演会	回	1	1	1	1	100.0%	◎	→	R3年度は例年と同じ会場での講演と、コロナ対策として動画配信形式にて行った。	消費生活センター
			民生委員等研修会	回	2	10	10	1	50.0%	△	→	新型コロナ感染予防対策としてR3年度は、動画配信形式に変更。	消費生活センター
			消費生活モニター事業	回	9	9	9	10	111.1%	◎	→	開催時期の変更等はあるが、通常通り実施	消費生活センター
			生き生き展の開催	回	1	1	1	1	100.0%	◎	→	例年はららぽーとTOKYO-BAYを会場として実施していたが、R3年度はHPを活用したデジタル方式での開催に変更して実施。	消費生活センター
			くらしの情報の発行	回	3	3	3	3	100.0%	◎	→	リアルタイムの情報を提供し、内容を充実させる。	消費生活センター
			老人福祉センター定期出張相談・啓発	回	56	56	56	50	89.3%	△	→	新型コロナウイルスの影響により、4月~7月は未実施。8月から実施方法を一部変更。	消費生活センター
			消費者安全確保地域協議会	回	1	1	1	1	100.0%	◎	→	内容を精査し、充実した協議会となるよう取り組む。	消費生活センター
63	その他	成年後見制度利用支援事業	後見人報酬助成件数	件	93	97	101	94	101.1%	◎	→	引き続き必要な者に助成することで、成年後見制度利用を促進していく。	地域包括ケア推進課
64	その他	成年後見制度普及事業	開催回数	回	2	2	2	1	50.0%	△	→	コロナの影響により開催が限定的な状況	地域包括ケア推進課
			参加者数	人	300	300	300	40	13.3%	▲	→	コロナの影響により人数を絞って対応	地域包括ケア推進課
65	その他	★高齢者虐待防止の体制	運営委員会開催回数	回	2	1	1	1	50.0%	△	↘	既にネットワークが構築されている状況のため、事例報告のために年間2回開催する必要があるか協議した結果、令和4年度より年間1回の開催とした。	地域包括ケア推進課
			担当者会議開催回数	回	12	6	6	4	33.3%	▲	↘	コロナの影響により開催が限定的な状況とともに、他の会議体においても権利擁護の事例検討がなされるため、令和4年度より年間6回の開催とした。他に8回の臨時会を開催。	地域包括ケア推進課
			事例検討数	件	20	10	10	4	20.0%	▲	→	コロナの影響により開催が限定的なため、事例報告数も減少はしているとともに、他の会議体においても権利擁護の事例検討がなされるため、令和4年度より年間6回の開催とした。他に8回の臨時会を開催し、その事例数が10件であった。	地域包括ケア推進課
			研修会開催回数	回	2	2	2	0	0.0%	▲	→	コロナの影響により開催が不透明な状況	地域包括ケア推進課
66	その他	高齢者虐待防止の周知と啓発	虐待に係る相談件数	件	3,180	3,430	3,460	3,498	110.0%	◎	→	引き続き高齢者虐待防止と権利擁護の推進のために実施していく。	地域包括ケア推進課
67	その他	障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据えた支援体制の整備	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	→	地域生活支援拠点システムにおいて、障害者や家族に対し、緊急時に備えた相談業務や受入対応、その後の支援等を行っている。また、本システムの稼働状況を定期的に確認するため、拠点運営委員会において自己評価を実施し、船橋市自立支援協議会専門部会である地域移行・福祉サービス部会へ報告を行った。	障害福祉課	

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容				実績			評価				所管課		
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	今後の方向性 と令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入			
基本方針 4. 介護 「いつでも安心して必要な介護サービスを利用できる体制の確立」													
68	介護サービスの量の確保	特別養護老人ホームの整備	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	→	第7期計画で選定した290床のうち残り2施設190床について、1施設90床は竣工し、1施設100床は開設した。第8期計画の190床について、公募方法の検討を行った。	高齢者福祉課		
69		介護老人保健施設の整備	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	→	第8期計画においては、既存施設の入居率等を勘案し整備数を見込まなかったため、整備は行わなかった。	高齢者福祉課		
70		特定施設の整備	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	→	第7期で選定した70床について、開設した。	高齢者福祉課		
71		地域密着型サービスの整備 (認知症高齢者グループホーム)	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	→	第7期計画で選定した18床について、開設に向け整備を進めた。	高齢者福祉課		
72		地域密着型サービスの整備 (グループホーム以外)	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	→	千葉県の補助金を活用した看護小規模多機能型居宅介護1事業所について、竣工した。	高齢者福祉課		
73		施設整備全体	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	→	有料老人ホームの事前協議を随時受け付けた。	高齢者福祉課		
74	介護サービスの質の確保	★介護人材の確保	新規就業者数	人	100	100	100	101	101.0%	◎	→	引き続き市内の実態を把握しながら、介護人材について量的確保のための施策を展開していく。 ・初任者研修助成件数77人 ・合同就職説明会での就業者4人 ・EPA候補者生受け入れ人数2人 ・入門的研修就業者数7人 ・借り上げ補助金の令和3年度新規11人	介護保険課
75		★介護保険訪問看護職員雇用促進事業の実施	補助対象常勤換算数	人	1,050	1,050	1,050	1236.6	117.8%	◎	→	必要に応じて事業の見直しを行い、引き続き、補助を行っていく。	介護保険課 地域包括ケア推進課
76		介護相談員派遣事業	介護相談員延派遣件数	件	552	552	552	0	0.0%	▲	→	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、元年度末より派遣活動等を中止している。介護相談員は利用者やその家族の相談や要望・苦情などを施設へ橋渡しすることを目的としており、感染拡大を防止した上で、この目的を果たせる派遣方法を検討する。	高齢者福祉課
			派遣施設数	か所	46	46	46	0	0.0%	▲	→	既存派遣施設に引き続き派遣していく。	高齢者福祉課
77	生活・介護支援サポーター事業	登録施設数	か所	10	10	10	10	100.0%	◎	→	引き続き「生活・介護支援サポーター」を施設に派遣し、介護事業者の業務を補助することにより、介護サービスの質の向上を側面から支援する。	高齢者福祉課	

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容					実績					評価		所管課	
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入			
78		介護支援専門員研修事業	介護支援専門員研修会参加者数	人	200	200	200	159	79.5%	△	→	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため募集人数を制限したが、多くの方が受講した。目標値の人数に向けて引き続き開催する。	地域包括ケア推進課
			介護支援専門員研修会開催数	回	1	1	1	1	100.0%	◎	→	引き続き、介護支援専門員に求められる知識や支援技術の取得のため、計画開催数の研修会を開催する。	地域包括ケア推進課
			主任介護支援専門員研修会参加者数	人	100	100	100	102	102.0%	◎	→	引き続き、主任介護支援専門員に求められる知識や支援技術の取得のため、研修会を開催する。	地域包括ケア推進課
			主任介護支援専門員研修会開催数	回	1	1	1	1	100.0%	◎	→	引き続き、主任介護支援専門員に求められる知識や支援技術の取得のため、計画開催数の研修会を開催する。	地域包括ケア推進課
79	多様なサービスの提供	生活支援コーディネーターの活動の活性化【再掲】	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	↗		地域福祉課	
80		★在宅介護支援センターから地域包括支援センターへの移行	地域包括支援センター設置数	か所	13	14	14	13	100.0%	◎	→	引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。	地域包括ケア推進課
			地域包括支援センター相談件数	件	52,700	57,100	57,500	61,137	116.0%	◎	→	引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。	地域包括ケア推進課
			在宅介護支援センター相談件数	件	14,600	13,800	13,900	16,427	112.5%	◎	→	引き続き相談窓口としての周知を図り、認知度や浸透度を高めていく。	地域包括ケア推進課
81	地域包括支援センターの機能強化	★地域ケア会議の推進・地域課題への取り組み【再掲】	個別ケア会議開催回数	回	118	131	144	87	73.7%	△	→	コロナの影響により開催が限定的な状況	地域包括ケア推進課
			全体会議開催回数	回	100	100	100	99	99.0%	○	→	コロナの影響で一部書面開催しているが、計画通り開催されている。	地域包括ケア推進課
			講演会開催回数	回	15	16	17	4	26.7%	▲	→	コロナの影響により、中止を余儀なくされているところが多かったものの、一部開催することは出来た。	地域包括ケア推進課
82		実態把握	実態把握件数	件	1,070	1,010	1,020	989	92.4%	○	→	支援が必要な高齢者を適切なサービスにつなぐため、地域包括支援センターと在宅介護支援センターが協力して実態把握を行っていく。	地域包括ケア推進課
83		相談協力員研修会	参加者数	人	300	300	300	0	0.0%	▲	→	コロナの影響により中止を余儀なくされた。	地域包括ケア推進課
			研修会開催数	回	1	1	1	0	0.0%	▲	→	コロナの影響により中止を余儀なくされた。	地域包括ケア推進課
84		相談支援の充実強化	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	→	働きながら介護に取り組む家族や、仕事と介護の両立不安や悩みに対する相談支援の充実強化を図るため、土曜・日曜にフェイスビル5階の相談室にて開設している「地域包括支援センター出張相談窓口」を継続している。	地域包括ケア推進課	

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容							実績			評価			所管課
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標		令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	今後の方向性 令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入		
85		★認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員の設置	認知症初期集中支援チーム	チーム	5	5	5	5	100.0%	◎	→	引き続き、認知症が疑われる人やその家族への支援を、包括的・集中的に行い自立生活のサポートをしていく。	地域包括ケア推進課
			認知症地域支援推進員(保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー)	名	直営センター15名 委託センター8名	直営センター15名 委託センター9名	直営センター15名 委託センター9名	直営センター13名 委託センター22名	145.8%	◎	→	引き続き、各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を兼務で配置し、推進員を中心に各地域で認知症施策を進めていく	地域包括ケア推進課
86		★本人や家族の交流の場や、本人の社会参加や生きがいにつながる場の創出	認知症カフェPR事業登録件数(累計)	件	48	61	74	28	58.3%	△	→	認知症カフェを開設している方や、認知症カフェの開設を考えている方への情報提供と情報交換、継続支援のために交流会の実施や、認知症カフェの運営に関するアドバイス等を紹介する「認知症カフェの手引き」の配布を通じて、新たな認知症カフェの開設支援に力を入れていき、認知症カフェPR事業登録件数の増加につなげる。	地域包括ケア推進課
			認知症カフェ運営補助金交付件数(新規分)	件	5	13	13	0	0.0%	▲	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の認知症カフェの多くが休止となっており補助金の申請もなかったが、今後は感染症対策を行いつつ認知症カフェが再開できるように支援をしていく。	地域包括ケア推進課
			認知症カフェ運営補助金交付件数(継続分)	件	0	61	74	0	-	-	→	認知症カフェに対する継続的な運営補助金制度の検討をしているが、現時点では予算化ができていないため継続して検討をしていく。	地域包括ケア推進課
			認知症カフェ交流会開催回数	回	1	1	1	1	100.0%	◎	→	引き続き、認知症カフェを開設している方や認知症カフェの開設を考えている方への情報提供、情報交換、継続支援のために交流会を開催していく。	地域包括ケア推進課
87	認知症対策の推進	★認知症の人や家族を地域で見守り、支え合う体制の構築	徘徊模擬訓練実施地区数	地区	3	5	5	0	0.0%	▲	→	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練を実施することができなかったが、認知症への理解を深めるとともに認知症高齢者本人の気持ちに配慮した声かけを学び、地域で認知症の人を支えていくために、引き続き訓練を実施する。	地域包括ケア推進課
			メモリーウォーク開催回数	回	0	1	1	0	-	-	→	引き続き、市民や社会に対して、認知症に対する理解を深めるために啓発活動を続けていく。 なお、令和3年度のメモリーウォーク開催回数については、当初より東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、ふなばし市民まつりの開催が予定されていなかったことから、0回を目標値として設定していた。	地域包括ケア推進課
			チームオレンジ体制整備(累計)	地区	3	6	9	0	0.0%	▲	→	令和3年度は新型コロナウイルスの感染症の影響により体制整備が進まなかったが、引き続き、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐために、チームオレンジの推進をしていく。	地域包括ケア推進課
88		認知症についての地域住民及び支援関係者への広報・啓発活動	認知症サポーター受講者数	人	9,000	9,000	9,000	8,001	88.9%	△	→	引き続き、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者として、認知症サポーターを養成していく。 また、市内市立の全小学校でも講座を実施し、中学校についても希望があった学校で講座を実施していく。	地域包括ケア推進課
89		認知症高齢者へのサービス提供	地域包括支援センター成年後見相談件数	件	2,810	3,040	3,060	2,594	92.3%	○	→	引き続き、成年後見制度普及事業の推進のために実施していく。	地域包括ケア推進課
			市長申し立て件数	件	40	40	40	32	80.0%	△	→	引き続き認知症高齢者の権利擁護の一環として対応していく。	地域包括ケア推進課

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容				実績			評価				所管課		
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入			
90		認知症家族交流会	認知症家族交流会開催数	回	6	6	6	5	83.3%	△	→	コロナの影響により開催ができないこともある。	地域包括ケア推進課
			延参加者数	人	115	115	115	32	27.8%	▲	→	コロナの影響により参加者人数も減少している。	地域包括ケア推進課
91		認知症訪問支援サービス(市町村特別給付)の実施	延利用件数	件	387	404	420	210	54.3%	△	→	集団指導の資料や、給付費通知のお知らせ欄にサービス内容を掲載し、事業所および市民への周知に努めた。今後も引続き制度の周知に努め、利用の促進を図っていく。なお、令和3年度についても新型コロナウイルス感染症の拡大が実績に影響していると考えられる。	介護保険課
92		認知症予防教室	参加人数	人	600	650	700	361	60.2%	△	→	健康スケールの結果通知や、シルバーリハビリ体操等参加者に対し、教室の案内を配布し参加を促した。	健康づくり課
93		SOSネットワーク	依頼件数	件	30	30	30	20	66.7%	△	→	引き続き徘徊高齢者の早期発見のため、事業を実施していく。	地域包括ケア推進課
94		徘徊高齢者家族支援サービス事業	利用人数	人	95	100	105	99	104.2%	◎	→	引き続き周知を図り、必要な方へ繋げていく。	地域包括ケア推進課
95		みまもりあい事業	(数値目標なし)		-	-	-	-	-	-	↗	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントでの周知ができなかった。	地域包括ケア推進課
96		成年後見制度の利用促進	(数値目標なし)		-	-	-	-	-	-	↗	権利擁護支援等推進協議会を立ち上げ、船橋市成年後見制度利用促進基本計画の策定を行った。	地域包括ケア推進課
97		★高齢者まちかど案内所事業	協力事業所数	事業所	220	230	240	189	85.9%	△	→	令和3年度は新型コロナウイルスの感染症の影響により協力事業所数が増えなかったが、協力して頂いた介護保険事業所や薬局等で主に介護予防・介護に関するサービスや適切な対応窓口の情報を提供してもらっている。今後も事業の周知活動を行い協力事業所の増加を図る。	地域包括ケア推進課
98		介護保険事業の普及啓発	介護保険・高齢者福祉ガイド発行部数	部	35,000	35,000	35,000	35,000	100.0%	◎	→	制度周知のため、引き続き実施していく。	介護保険課
			介護保険のてびき(小冊子)発行部数	部	8,500	8,500	8,000	8,500	100.0%	◎	→	制度周知のため、引き続き実施していく。	介護保険課
			出前講座開催回数	回	8	8	8	2	25.0%	▲	→	新型コロナウイルスの影響により実施回数が伸びなかったが、今後も状況を鑑みつつ、地域住民や関係団体等から要望があった際には実施を検討する。	介護保険課
			出前講座参加人数	人	200	200	200	57	28.5%	▲	→	新型コロナウイルスの影響により実施回数が伸びなかったが、今後も状況を鑑みつつ、地域住民や関係団体等から要望があった際には実施を検討する。	介護保険課
99		介護保険利用者負担助成事業	認定者数	人	145	151	157	153	105.5%	◎	→	集団指導の資料や広報ふなばし、給付費通知のお知らせ欄に制度内容を掲載し、事業所および市民への周知に努めた。低所得者の介護サービスの利用を確保するため、今後も引続き制度の周知に努め、利用の促進を図っていく。	介護保険課

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- ↗ 拡大
- 現状維持
- ↘ 縮小
- × 廃止

第8期介護保険事業計画に記載の内容							実績			評価		所管課	
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標		令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	◎	今後の 方向性		令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入
100	介護サービスの円滑な利用	介護老人福祉施設利用者負担対策事業	認定者数	人	83	86	90	83	100.0%	◎	→	集団指導の資料や広報ふなばしに制度内容を掲載し、事業所および市民への周知に努めた。低所得者の介護サービスの利用を確保するため、今後も引き続き制度の周知に努め、利用の促進を図っていく。	介護保険課
101		介護給付等費用適正化事業	認定調査結果確認件数	件	7,700	7,700	7,700	1,935	25.1%	▲	→	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から調査委託件数が減少しているため、目標件数に達しない見込みである。今後も調査委託件数に応じて認定調査結果を確認し、適切かつ公平な要介護認定の確保を図る。	介護保険課
			ケアプラン点検事業所数	か所	40	40	40	40	100.0%	◎	→	本来は事業所へ訪問して実施する事業であるが、令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から文書での実施が主となった。今後も感染拡大状況等を踏まえた方法により引き続き計画的に実施していく。	介護保険課
			住宅改修等の現地調査件数	件	60	60	60	74	123.3%	◎	→	本来は利用者の自宅へ訪問して実施する事業であるが、令和3年度については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から文書での実施となった。今後も感染拡大状況等を踏まえた方法により引き続き計画的に実施していく。	介護保険課
			縦覧点検・医療情報との突合等件数	件	20,000	20,000	20,000	19,154	95.8%	○	→	国保連合会から提供される突合情報の件数に応じた実施のため結果的に目標件数に達していないが、適切に照会を実施することができた。今後も引き続き計画的に実施していく。	介護保険課
			介護給付費通知送付数	件	91,000	95,000	98,000	89,086	97.9%	○	→	利用した介護サービスの内容や費用について、年4回、利用者に通知した。目標値達成に向け、引き続き計画的に実施していく。	介護保険課
102	要介護認定適正化事業	要介護認定適正化研修	回	1	-	1	1	100.0%	◎	→	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面による実施とした。隔年開催のため次回は令和5年度に実施予定。	介護保険課	
103	介護サービス事業所情報の提供	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	→	市ホームページでの介護事業者情報検索システムの公開、介護事業所一覧冊子や介護サービス事業者ガイドブック『ハートページ』の配布を行い、事業所情報の提供に努めた。	介護保険課	
104	地域共生社会の実現に向けた取り組み	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	↗	地域共生社会の実現に向けた内容を盛り込んだ第4次船橋市地域福祉計画を策定した。	各関係課 (地域福祉課)	

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- ↗ 拡大
- 現状維持
- ↘ 縮小
- × 廃止

第8期介護保険事業計画に記載の内容							実績			評価			所管課	
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	◎	○	△	今後の 方向性		令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入
基本方針 5. 医療「医療と介護の連携による継続的・一体的なサービス提供体制の確立」														
105	在宅医療の 推進	★在宅医療・介護連携に関する相談支援(在宅医療支援拠点ふなぼーと)	相談件数	件	750	770	790	882	117.6%	◎	→	相談件数については、昨年度よりも増加しているため、引き続き相談業務を継続する。	地域包括ケア推進課	
106		★在宅医療・介護関係者の研修(ひまわりネットワーク)	スタートアップ研修開催回数	回	3	3	3	2	66.7%	△	→	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら引き続き医療・介護従事者向けの研修会を実施していく。	地域包括ケア推進課	
		実践研修開催回数	回	2	2	2	0	0.0%	▲	→	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら引き続き医療・介護従事者向けの研修会を実施していく。	地域包括ケア推進課		
		アドバンス研修開催回数	回	1	1	1	1	100.0%	◎	→	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら引き続き医療・介護従事者向けの研修会を実施していく。	地域包括ケア推進課		
107		★在宅医療・介護関係者の研修(在宅医療支援拠点ふなぼーと)	在宅医紹介制度登録医療機関数	機関	52	56	59	49	94.2%	○	→	今年度は医療・介護専門職を対象とした、在宅医ネット研修会をオンラインで開催を予定している。引き続き方法を検討し開催するとともに、研修会等を通じて在宅医紹介制度登録医療機関数の増加を図る。	地域包括ケア推進課	
108		★在宅医療推進に係る市民への普及啓発(在宅医療支援拠点ふなぼーと、在宅医療・介護の講演会・相談会・出張講演会)	ふなぼーと市民公開講座開催回数	回	1	1	1	0	0.0%	▲	↗	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、在宅医療支援拠点ふなぼーとの市民公開講座は開催を見送った。今後も感染状況を考慮しながら、開催に向けて検討を進めていく。	地域包括ケア推進課	
		在宅医療・介護の講演会開催回数	回	7	7	7	5	71.4%	△	↗	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら引き続き講習会を実施していく。	地域包括ケア推進課		
		在宅医療・介護の相談会開催回数	回	8	8	8	6	75.0%	△	↗	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら引き続き相談会を実施していく。	地域包括ケア推進課		
		在宅医療・介護の出張講演会開催回数	回	8	8	8	0	0.0%	▲	↗	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら引き続き出張講演会を実施していく。	地域包括ケア推進課		
109		★在宅医療・介護資源の情報の把握・データベース化	「在宅医療・緩和ケア提供機関マップ」に掲載の医療機関数	機関	365	370	375	412	112.9%	◎	→	今年度も令和4年版ひまわりマップを作成し、医療・介護関係者に配布を予定している。引き続き研修会等でマップの周知を引き続き行い、認知度の向上に努める。	地域包括ケア推進課	
110		医療・介護関係者の情報共有の支援	システム操作体験会開催回数	回	10	10	10	10	100.0%	◎	→	小規模ではあるが個別に事業所等に対し使用方法等の説明を行った。カナミックネットワークの利用者数を増加させるため、システム操作説明会を引き続き実施することに加え、ひまわりネットワーク事務局の委員会でも運用について検討を行う。	地域包括ケア推進課	
111		★在宅医養成研修	開催回数	回	5	5	5	0	0.0%	▲	↗	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、今年度は実施を見送った。	地域包括ケア推進課	
112		在宅医療の推進	訪問診療件数	件	5,795	5,824	5,852	-	-	-	→	厚生労働省 医療施設(静態・動態)調査より(29年度数値)実績 5941件	地域包括ケア推進課	
113	在宅医療実施医療施設数		施設	76	80	84	-	-	-	→	厚生労働省 医療施設(静態・動態)調査より(29年度数値)実績 45施設	地域包括ケア推進課		

※1. 達成率の印とその評価の目安

- ◎ …計画目標値を達成又は上回っており、着実に計画が進んでいる(達成率100%以上)
- …ほぼ計画目標値を達成し、このまま計画を進めていく(達成率90%~100%)
- △ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、さらなる計画の推進が必要(達成率50%~90%)
- ▲ …達成率が計画目標値に達していないものがあり、今後事業見直しも含めた計画の推進が必要(達成率50%以下)

※2. 今後の方向性について

- 「↗ 拡大」「→ 現状維持」「↘ 縮小」「× 廃止」

第8期介護保険事業計画に記載の内容					実績			評価				所管課	
No	施策群	施策名 ★は重点項目	指標	令和3年度 目標	令和4年度 目標	令和5年度 目標	令和3年度 実績	達成率 (実績/目標)	今後の 方向性	令和3年度の取組みや検討課題などの評価を記入 ※目標値を変更した場合は、その理由を記入			
114	在宅医療推進のための連携体制の構築	在宅医療推進のための連携体制の構築	ひまわりネットワークの症例検討会等の開催回数	回	30	30	30	20	66.7%	△	→	①船橋市における在宅医療・介護連携の心得、②人材育成研修体系に沿った研修、③ひまわりポイント、④ひまわりシート、⑤在宅医療・緩和ケアリ・ハビリテーション提供機関マップ等、広く周知するための説明会やチラシの配付などを引き続き行うとともに、多職種団体等に赴き説明を実施する。また人材を育成するための研修会を適宜開催するなどし、船橋市における在宅医療・介護連携の促進につなげる。	地域包括ケア推進課
115		顔の見える関係づくりの推進(在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応の協議)	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	→	Zoom等を活用し委員会を開催した。	地域包括ケア推進課
116		在宅医療のコーディネーターの機能強化	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	→	本人と家族向けの心得(在宅医療に関する心構えや知識)の作成に向けて勉強会を行った。	地域包括ケア推進課
117		在宅医療推進に係る市民への普及・啓発(ひまわりネットワーク)	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	→	船橋在宅医療ひまわりネットワーク市民公開講座については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響でオンラインで開催した。	地域包括ケア推進課
118		在宅医療・介護連携推進事業の評価事業	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	↗	在宅医療・介護関係者へKDBや高齢者生活実態調査等を活用し調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により調査を見送った。	地域包括ケア推進課
119		医療・介護人材確保事業	(数値目標なし)	-	-	-	-	-	-	-	-	→	在宅医療支援拠点ふなぽーとにおいて職業安定法に基づく無料職業紹介事業を実施し、面接時の同行や研修会の実施等継続的に支援を実施し、介護人材確保を図る。
120	地域医療連携の推進	★かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局の推進	かかりつけ医を持つ65歳以上の市民の割合	%	60.8	61.6	62.3	-	-	-	→	かかりつけ医等推進啓発用チラシの配布に加え、小児救急ガイドブック、アクティブシニア手帳等に、かかりつけ医等の推進に関する記事を掲載するなど、かかりつけ医等の推進を図った。	健康政策課
			かかりつけ歯科医を持つ65歳以上の市民の割合	%	80.0	80.0	80.0	-	-	-	→	現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや講演会等が中止となっており、普及・啓発を行う機会が減っているため、他の周知方法を検討していく必要がある。	健康政策課
			かかりつけ薬剤師・薬局を持つ65歳以上の市民の割合	%	62.7	63.5	64.2	-	-	-	→	また、国・県等の動向について情報収集に努める。 ※実績値の算出根拠となる「高齢者生活実態調査」は3年ごとの調査であり、令和3年度は実施しないため、令和3年度の実績はなし。	健康政策課
121	看護職の確保	★看護職の確保	就業看護職員数	人	4,839	4,928	5,017	-	-	-	-	千葉県のがデータが令和2年12月31日現在のものであるため、令和3年度の実績(見込み)は未入力	健康政策課
122		★介護保険訪問看護職員雇用促進事業の実施【再掲】	補助対象常勤換算数	人	1,050	1,050	1,050	1236.6	117.8%	◎	→	必要に応じて事業の見直しを行い、引き続き、補助を行っていく。	介護保険課 地域包括ケア推進課
123	地域リハビリテーションの推進	★地域リハビリテーションの推進	地域リハビリテーション拠点事業 講演会・研修会(市民対象・リハビリ関係者対象)の開催回数	回	7	7	7	8	114.3%	◎	→	今後も継続して行っていく。	健康政策課 地域包括ケア推進課
			訪問リハビリ提供施設数	施設	15	16	17	14	93.3%	○	→	引き続き、在宅医療の推進のため、訪問リハの提供施設の周知をしていく。	健康政策課 地域包括ケア推進課
124	歯科口腔保健の推進	★訪問歯科診療の充実	訪問歯科診療事業件数(さざんか・かざぐるま)	件	1,251	1,375	1,566	1,108	88.6%	△	↗	さざんか歯科診療所においては、診療時間の拡大を行ったが患者数が大きく伸びていないため。特殊歯科事業に関する周知を図る。	健康政策課
125		★口腔保健支援事業の実施	口腔ケア講習会・市民講演会開催回数	回	3	3	3	3	100.0%	◎	→	令和3年度はオンライン(YouTube)により実施した。今後も継続して行っていく。	健康政策課